



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

8月号 AUG 2022

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

## いよいよスタート 8月中旬から北海道産玉葱入荷します！



新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染の第7波に入ったと言われており、7月は全国的に感染者数が過去最高となった日が続きました。7月31日の数字を見ると、全国の新規感染者数が19万7792人となっています。東京都内の新規感染者数も3万1541人となりました。感染者の症状は比較的軽症の方が多いと言われてはいますが、ワクチン接種を行っていても罹患するという事はもはや、感染しないということはないといえます。Withコロナ。以前から言われていましたが、怖がりすぎることなく、それぞれの個人の価値観を尊重しながら社会生活を送る時代にいよいよなってきたのであると思います。

そのような状況で経済環境も動き始めたように思います。今夏は3年ぶりの行動制限なしの夏となります。我々の業界にプラスの影響となればよいなと思います。一方、報道でも取り上げられているように、食品関連の値上げが話題です。最低雇用賃金も今年10月から過去最大の引き上げ幅で変更となります。コスト面と自社商品販売価格をどうするか。大きな分岐点になっていくと思います。

更に我々青果物加工業界の特徴である原料野菜の出来。野菜の一次加工はこども大事です。去年は北海道産玉葱凶作の影響によって、過去例の無い玉葱の流通状況となりました。そしてまた22年産北海道玉葱のシーズンがやってきます。

7月13日～16日に北見地区、富良野地区、岩見沢地区と玉葱産地の大所の圃場を視察してきました。結論から申し上げますと、「昨年のような凶作にはならない」ということはまずお伝えできるかなと思います。視察時点では地区ごとに生育のバラつきはあるものの、平年作以上には見えました。生育の各ステージではそれぞれ若干の課題を抱えながら推移してきたこともあり、軟腐病や玉サイズに懸念はあるものの、昨年のように極端な状況にはないということは今ご報告できるところです。

北見地区の生育が若干遅れて見えていた点と、視察時以降も降雨が続いており、日照が不足している点が現在の懸念材料です。品種としては、オホーツク222、北もみじ2000が主力となりますので、8月中旬までの生育推移をしっかりと見守る必要があると思います。

物価高やコロナ第7波、農業だと高温や豪雨など、世の中ネガティブな情報が多いですが、弊社は剥き玉葱を中心とした様々な野菜の販売を通じて、お客様にお値段以上の価値を感じて頂けるような商品づくりに取り組んで参ります。北海道産玉葱のシーズンが間もなくスタートしますが、産地様と一体になってより良い商品をお届けできるように努めて参ります。今シーズンもご愛顧の程宜しくお願い致します。

最後にいつもマルト便をご覧になっていただき誠にありがとうございます。マルト便スタートより10年の月日が経ちました。来月9月号より初の全面リニューアルを実施してお届けいたします。皆さまに今まで以上にお役に立てる情報を掲載していきたいと思っております！

# “食”の分野で役立つマーケティング情報

マルチ便で「“食”の分野で役立つマーケティング情報」として連載を書き始めて5年にもなりますが、今号でこの連載も最後となります。これまで私のつたない文章をお読みいただきましてありがとうございました。普段は、クライアントの商品やサービスの価値を上げるということを目的に仕事に取り組んでいて、仕事の中で思いついたことや、ヒントを求めて触れた情報から知ったことなどを書かせていただきました。でも正直に言うと毎月思っていたことは、自分の頭の中で考えたことを誰かに伝えるということは、あらためて難しいことだということでした。そんな中でも私自身、書きながら勉強になった思い出深いトピックもいくつかあります。

商品やサービスをつくるのと同じくらい「買う理由をつくる」を広めることである「属性順位の転換」もそのひとつです。消費者は毎日、企業やブランドから大量のメッセージを送られていますが、消費者に選んでもらうには、商品やサービスをより良いものにするのはもちろんのことですが、それと同時に消費者にとっての「買う理由」生み出すというものです。インスタグラムなどのSNSの影響が消費の現場でこれからはますます大きくなっていく中で、いつも意識をしながら仕事をしています。

神戸のレストラン「SALA」のエピソードも印象に残っています。日替わりで6ヵ国から来た神戸、大阪在住の女性8人の女性が母国の料理を出すというユニークなコンセプトのレストランです。働く場を求める在日外国人女性が調理人となり、母国の料理を提供しているのですが、そのきっかけが大学の授業のソーシャルワークの活動中に、異国の日本での生活にとまどって元気を無くしていた外国人女性たちが母国の“食”について話すときの生き生きした姿から思いついたというもの。世界のどこでもやっぱり“食”は人を元気にさせるんだと嬉しくなりました。

何回か話題を変えて書きましたが、消費の現場での女性の重要性についても心に残っています。もちろん今も（毎日といっていいくらい）女性の視点は意識しようとしています。女性の心を動かすには（女性にモノやサービスを選んでもらうには）「最高に輝いている自分」だけを見せてあげて、可能な限り現実の苦勞を見せないことが大切であるということとはとても印象的です。ただし、男性としてはなかなか理解することが難しいですが。

あらためまして、この5年間「“食”の分野で役立つマーケティング情報」にお付き合いをいただきましてありがとうございます。まだ新型コロナの広がりには終わってはいませんが、そのうち元の日常が戻ると楽観視しています。その時には今より“食”の業界がきっと盛り上がることを信じて。



木下康司 きのしたこうじ  
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。  
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。  
<http://www.kino-company.com>

## 8月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	府県各産地	相場若干落ち着いてきた感 北海道産が下旬からスタート
輸入黄玉葱	NZ 西オースト	ご要望頂ければ手配をさせていただきます(スポット案内)
中国剥き玉葱	山東省	作付け減(例年より高値推移) 若干小玉傾向
国産赤玉葱	淡路 栃木 他	淡路 栃木 安定入荷中(例年より高値推移)
輸入赤玉葱	中国 AUG	中国産 AUG産 スポット対応となります

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315